

# 磐田 NPO 交流センター通信

## NPO 交流フォーラム2003 「磐南地域のまちづくりへ」開催

十月十八日（土）交流フォーラム2003が、磐田NPO交流センターで開かれ、自治会役員、磐南地域の市民活動団体やまちづくりサポーターなど四十余名が集まりました。講演に先立ち、磐田市長は「市民活動が着々と根付いてきていることに感謝する。市民がこのNPO交流センターをもっと利用して、行政の届かない部分を助けていただきたい。この講演会がこれからのNPO、地域づくりに生かしてもらえぬ事を期待している」と挨拶しました。

### いわたブランド化プラン スタート

市商工観光課より、七月一日スタートした、インターネットを使って磐田市に関わりのある商品を発見、発掘していく「いわたブランド化プラン」についての概要説明がありました。（詳しくは<http://brandiwatanet.co.jp>をご覧ください）ホームページ上には「いわたブランド」の商品が色々掲載されています。この制度の特色は①インターネットを通じて世界中のどこか

らでも磐田ブランドの商品が購入できる。②ネット上で商品に注文すると注文者にポイントが与えられ、そのポイントをあらかじめ登録してある市民活動団体に付与することができる。活動団体はそのポイントを活動資金として還元できます。これに



市長あいさつ



穂の国まちづくりネットワーク  
代表理事 笠原盛泰氏 講演



「磐南地域めぐりのイベントを…」



「合併協議を盛り上げるには…」

ットワーク」笠原盛泰代表理事が、宝飯郡豊川地域の合併問題と新しいまちづくりの実践活動について「穂の国まちづくりネットワーク」の設立や、管理運営するとよかわNPOセンター「ほっと」開設までの活動を熱い思いで語ってくれました。穂の国とは、愛知県東三河地区の大化以前からの呼称で、国府・国分寺がおかれていました。

新しいまちづくり、地域に関わってくれる志ある人『志民』をたくさん増やす事が大切。磐南地域の皆さんとはこれからも交流を深め、お互いに自慢できるまちづくりを目指しましょう」と結ばれました。

### 磐南地域のまちづくりへ

交流会では参加者の自己紹介、所属団体の活動状況報告があり、青年会議所、福祉、環境問題、

より磐田市では、市民活動に必要とされる場所としてNPO交流センター、人としてまちづくりサポーター、そして資金としてこのいわたブランド化プランと整ってきました。

### 住民主役のまちづくり推進

「住民主役の穂の国づくりから」と題した基調講演では、NPO法人「穂の国まちづくりネ

磐南地域も天平時代に遠江と呼ばれ国府・国分寺がおかれていたこと、平成十七年に市町村合併を目指していること、その合併後人口が十七万人とほぼ同様であることなど、歴史文化において酷似しています。

笠原代表理事は、「究極的には行政の協働力、政策力と住民自治力がうまくかみ合うことが必要です。それには意欲を持って

P T A 子ども会、町内自治会、老人会、国際交流等のさまざまな分野での活動が紹介されました。秋祭りなどで忙しい中、磐田市外からも多くの方が参加してくれました。

これからのまちづくりは、人づくりを最優先課題に取り上げより広域で、楽しく参加できる雰囲気場の提供を粘り強く続けていきたいと思えます。

## 磐田国際交流協会が発足

七月六日(日) 磐田商工会議所で磐田国際交流協会設立総会が開かれました。総会後の交流会では、中国・ミャンマーからの留学生による踊りや太極拳が披露されたり、会員親睦会では「はじめましてゲーム」などで和やかな交流が行われました。磐田国際交流協会の設立は、市内の国際交流事業を推進している一〇団体がお互いの情報交換や相互理解を深めようと集まったことから始まりました。

磐田市にはブラジルを始め多くの外国人が住んでおり、その数は年々増加しています。そのため地域性が豊かになった一方で、ごみや騒音などの問題が起きています。また外国人からは祭りや防災訓練にも参加したいが言葉の面で難しいこともあるとの声がかかります。外にも教育、保険、医療、福祉など様々な課題があり、それらに対応するためには官民一体となって取り組む

組織が必要であるという考えから協会設立に至りました。

磐田国際交流協会では活動にあたって三つの柱をたてています。①海外諸国との交流の促進②在住外国人との共生社会の実現③青少年の国際理解と親善。青少年の国際理解は、次代を担う子どもたちの国際感覚の育成と豊かな人間性を養うため特に重要なものと考えています。



交流会

今後の事業は、「制服・学用品のリサイクル、ホームページ開設、日本の学校と

ブラジル人学校との交流、国際交流イベント」などが予定されています。九月には会報誌 IWATA ICE NEWS(いわた あいす ニュース) 創刊号が発行されました。また来年三月に多言語磐田市地図を発行するため、作業を進めています。

「地球はひとつ、人類は皆仲間」を基本理念とした磐田国際交流協会では会員を募集しています。

**問合せ先** 磐田国際交流協会事務局(磐田市共生社会推進室内) TEL(三二)二二〇二

## まちづくりサポーター 交流会実施報告

八月二十五日(月) 磐田NPO交流センターにおいて第二回まちづくりサポーター交流会が開催されました。

興味のある分野ごと四つのグループに分かれ、交流を図りました。「まちサポはきっかけづくりという位置づけ」「退職後、没頭できる何か」「退職後、自分で探し求めたい」というようなことから市民活動をやっていこう

という方や、つわもののサポーターからは、「サポーターをもっと強固にして横のつながりから広域的な活動に移行できるようにする必要がある」「五市町村合同のイベントを開催したい」「同じような志を持つ市民が集まり、システムが構築されれば活動の範囲が広がり、登録数も増えるのではないか」

「まちサポ主催のイベントを何かやれないか」など熱い意見が交わされました。制度発足から現在まで、まちサポが活動した依頼件数は平均すると月二回くらいで、今年度に入ってから依頼件数は増えましたがまだまだ少ないようです。待っているだけでなく、まちサポメンバーが自分たちで依頼をとつてくることはできないかというような意見も出ました。

これに対し、担当する市企画調整課では、サポーターとしての活動時のPRと活動意識の高揚を兼ねて、まちづくりハンドブック、まちづくりサポーターの帽子・ユニフォームなどを作りました。しかし、サポーター

の熱意に応えるようなシステムづくりへ踏み出すにはもう少し時間がかかりそうです。

高度成長の中で、仕事人間だった方が地域に帰る。子育てが一段落した主婦が、ボランティアなどを始める。余裕のない世の中ではありますが、今、市民が自ら行動を起こすための始めの一歩であるまちづくりサポーター制度として、行政に依存するのではなく、ともに育てていく形にしていくべきだと磐田を応援しましょう。

ユニフォームと帽子の配付







### 遠江国分寺を考える会

代表 佐藤 俊三  
事務局 大場 正純

磐田市中泉一五一一  
TEL (三三二) 三三〇九  
設立 平成九年七月二十日  
構成 一〇三名  
(男五十二名、女五十一名)

### 活動目的・活動内容

遠江国分寺に関する諸々の調査研究をすると共に、他の関係団体と緊密に連携し遠江国分寺が復元されるよう全面的に支援する。又、遠江国分寺特別史跡内の清掃活動を推進する。  
平成十五年度事業

八月二十三日 研究会(塔の建築様式)  
十月二十六日 視察研修(奈良)  
十一月二十九日 国分寺フォーラム  
十二月十四日 研究会(国分寺の構造)  
二月十五日 研究会(聖武天皇と光明皇后)

### 参加・協力方法

賛同される方は、歓迎いたします。ご連絡ください。  
会費等 年額 一〇〇〇円



国分寺跡の草かり

### 見付宿を考える会

代表 小林 佳弘  
事務局 竹下 定利

磐田市見付一二八四  
TEL (三四) 二四四〇  
設立 平成八年七月十八日  
構成 四十一名  
(男三十四名、女七名)

### 活動目的・活動内容

歴史が息づくまちづくりの推進・見付らしさの再現と新しいまちの創造・地域像に立脚した活力あるまち

づくりを指針に一歩ずつ前進して活動を続けていきたい。  
参加・協力方法  
入会希望される方は、いつでも歓迎いたします。

会費等 年額 三〇〇〇円



たのしい文化展より ハーモニカ演奏

### (磐田ふれあい基金協会) シニア生き生き倶楽部

代表 戸塚 浅雄  
事務局 青木精一郎

磐田市二之宮一四〇二  
TEL (三五) 〇三三四  
設立 平成十二年六月  
構成 二十二名  
(男十一名、女十一名)

### 活動目的

無理せず、気軽に各自可能な時間を仲間と一緒に自分と社会に役立てる。

### 活動内容

布健康ぞうりの普及(作り方指導)・柿園の管理と子どもの招待(自然体験教室)・高齢者への創作ボラ  
ンティア(施設訪問)・高齢者いきいき交流サロンの企画と実施・親睦交流研修

### 参加・協力方法

私たちの活動に賛同される方どなたでも歓迎します。ご連絡くださいれば活動予定を送付いたします。  
会費等 年額 一〇〇〇円



布健康ぞうり作り

### 遠州常民文化談話会

代表 名倉 慎一郎  
事務局 中山 正典

磐田市見付三六二九一一  
TEL (三三三) 七五六三  
設立 昭和五十四年四月  
構成 三十六名  
(男三十一名、女五名)

### 活動目的・活動内容

柳田国男の著作を読みあいながら、地域の歴史や民俗について学習しているグループです。「身銭主義で生活者の学びを」と呼びかけ常民大学を提唱された故後藤総一郎(明治大学教授)の教えを受け継いで、ここで学んだものを地域の発展のために活用していこうと、講演会や展示会なども企画しています。

### 参加・協力方法

先ず、地域のことを知ることで、学ぶことが地域を活性化させる第一歩だと思っています。月一回の学習会にご参加ください。

### 会費等

年額 一〇、〇〇〇円  
各回の参加費 一五〇〇円  
参加資格等は特にありません。

NPO法人豊遊(豊田町)

豊田町を中心に、遊びの中から地域を知り、人を知り、楽しみながら将来の地域を考える社会教育推進事業、まちづくりの推進事業(町の施設や資源を生かしたまちづくり活動)をしてきました。平成十四年四月には、フェスティバル豊田町で「豊田町博物館」を企画実行。古きよき時代を再認識し、新たな地域づくりに活かそうと「温故知新」をテーマとした豊田の写真展や懐かしい出店を、地域の小学生たちと一緒に運営しました。町内の小学生児童と「ゆやの里ドッジボール大会」も開催しています。

**理事長** 大橋 徳久  
**事務局長** 芥川 栄人  
**事務局所在地**  
磐田郡豊田町東名

TEL(三四)〇七六四  
二六七―三

INFORMATION

福祉のまちづくりとNPO講演会

**主催** 磐田市立向笠公民館・向笠地区社会福祉協議会・向笠地区自治会連合会  
**日時** 平成十五年十二月十四日(日) 九時三十分から十二時まで  
**開催場所** 向笠公民館  
**内容** 一、NPO入門講座  
二、男女共同参画地区懇談会  
**問合せ先** 向笠公民館  
(三八)〇二一六

**桶ヶ谷沼 冬の野鳥観察会**  
**主催** 桶ヶ谷沼を考える会  
**日時** 平成十六年二月八日(日) 九時から十一時  
**集合場所** 桶ヶ谷沼仮駐車場



ゆやの里ドッジボール大会

**内容** 磐田市の鳥マガモ、県下でここだけで見られる稀少種トモエガモ、美しく大きなコハクチョウなどを観察  
**問合せ先** トンボハウス  
(三七)三八八八 國松

**グラウンドゴルフ**  
**静岡新聞社SBS静岡放送杯 争奪男女別個人戦**  
**日時** 平成十五年十二月十八日(木) 八時三十分から十二時三十分  
**中日新聞社東海本社杯争奪男女別個人戦**  
**日時** 平成十六年三月二十二日(月) 八時三十分から十二時三十分  
**主催** 磐田グラウンドゴルフ倶楽部

**開催場所** 磐田市中央公園運動場  
**参加資格** 磐田市内の二十才以上の男女  
一般参加費八〇〇円  
**問合せ先** 磐田グラウンドゴルフ倶楽部  
(三二)三六九三 海老江

**子ども茶道体験**  
**主催** 磐田市子ども会世話人連合会  
**日時** 平成十五年十二月六日(土) 九時三十分から  
**開催場所** ワークピア磐田

**子どもかべ新聞展示会**  
**主催** 磐田市子ども会世話人連合会  
**日時** 平成十六年一月十八日(日)から一月二十五日(日) 九時から十七時まで(最終日十五時まで)  
**開催場所** 磐田市立図書館  
**内容** 各子ども会が活動の様子をかべ新聞にし、展示する  
**問合せ先** 磐田市生涯学習課  
(三五)四三二五 田村

**ふれあい書道サロン 第二回無料ペン字講座**  
**主催** NPO法人磐田ふれあい基金協会  
**日時** 平成十五年十二月九日(火) 十二月十六日(火)のいずれか九時三十分から十一時まで  
**開催場所** 磐田ふれあい基金協会事務所(磐田市西貝塚五五七―五)  
**内容** 日常生活に欠かせない実用文字&年賀状の宛名書き  
**問合せ先** 書道研究 耿栄社  
(三五)一六八四 石田不空、またはNPO法人磐田ふれあい基金協会(三六)〇八三三

**観光ボランティアガイドの養成講座を受講しました。**  
磐田には魅力ある場所がたくさんあります。秋祭り・わかふじ国体・わかふじ大会も終わり、磐田を訪れる方も一段落かもしれません。ジュビロも十周年、桶ヶ谷沼には、来春隣接してビジターセンターが建設されます。もっと賑わいのあるまちへ駅前の「天平のまち」にいわたブランドのお店などができて、来訪者が楽しめる場所づくりも必要ではないでしょうか。  
(村上)

編集後記

観光ボランティアガイドの養成講座を受講しました。磐田には魅力ある場所がたくさんあります。秋祭り・わかふじ国体・わかふじ大会も終わり、磐田を訪れる方も一段落かもしれません。ジュビロも十周年、桶ヶ谷沼には、来春隣接してビジターセンターが建設されます。もっと賑わいのあるまちへ駅前の「天平のまち」にいわたブランドのお店などができて、来訪者が楽しめる場所づくりも必要ではないでしょうか。  
(村上)

磐田NPO交流センターのホームページ開設! <http://www3.tokai.or.jp/iwata-npo/>

- 磐田NPO交流センター通信 第八号 平成十五年十二月一日発行
- 発行者/磐田市総務部地域振興課 〒四三八―八六五〇
- 磐田市国府台三一 TEL(〇五三八)三七―四八二一
- 編集/磐田NPO活動推進協議会 〒四三八―〇〇七八
- 磐田市中央町一―二四 TEL(〇五三八)三六一―八九〇